

# 地域のコミュニケーションを深めよう!

地域を歩いて危険箇所を見つけます! 頑張るぞ~!

## フィールドワーク

### 2班に分かれ、異なるルートの危険箇所をチェック!

**中** 中央区総務企画課の佐藤さんから  
のレクチャーの後は、いよいよ  
フィールドワークへ! 参加者は2班に  
分かれ、セミナー会場の熊日本社周辺地  
域の異なるルートを巡ります。  
今回の地域版ハザードマップ作成では、  
主に水害や地震を想定して危険箇所を  
チェック。ルート上には、用水路や狭い道  
路、行き止まりの道といった危険箇所が  
思った以上に点在し、その都度、先導する  
各区総務企画課の職員が、危険な理由など  
を丁寧に説明していました。  
約1時間かけて行った各コースのフィー  
ルドワークの様子を紹介します。



### 出発前にまち歩き のルートを説明

出発前、班ごとに先導する2人の総務  
企画課職員から自己紹介と、この日巡る  
ルートの説明やまち歩きを行う際の諸  
注意がありました。中には緊張気味の  
参加者の気持ちをほぐすようにジョーク  
を交えながら説明する職員も。場が  
和んだところで、いざ出発です!

前日の玄関ホールで班ごとに説明を受け、  
フィールドワークに出発!

### 事前に想定した危険箇所以外にも参加者から質問が



それぞれのコースは、事前に総務企画課の職員が  
下見をし、危険箇所をチェックしておきました。そのポ  
イントでは立ち止まって、具体的な箇所や危険な理  
由、万一の場合の対処法などを説明。また、参加者か  
ら「こういう場所は危なくないのか?」など、コース  
上のさまざまなポイントについて質問が出ました。



危険箇所につ  
いて説明を受け  
た後は現場の写  
真を撮影。後で  
ハザードマップ  
に貼り付けます

### 防災のプロが解説! フィールドワーク& 地域版ハザードマップ作成のポイント

#### 地域版ハザードマップに 落とし込むポイントはココ!

- 危険な場所/電線、墓地、歩道などの段差や傾斜、排水溝など
- 役に立つ場所/避難場所(公園、公民館、広い空き地など)、コンビニ、公衆電話、消火栓など
- 過去の経験を記載/過去の大雨、水害で冠水した場所など(一時的なものも含む)

### 地域版ハザードマップを作って 災害時の避難場所への移動ルートを確認!



フィールドワークに出る前には、現役消防隊員で、現在、中央区役所総務企画課に出向中の佐藤立彦さんが、実際にまち歩きを行う際に注目すべき危険箇所や地域版ハザードマップの必要性、作成時のポイントなどを説明。その中で佐藤さんは、「町内単位で作成する地域版ハザードマップは、災害の際に自宅や職場、学校から避難場所へ移動する時に役立つ。より現実的な目線ですることが大切」と強調しました。

### 一時避難場所のチェックも忘れずに!

フィールドワークでは、危険箇所のチェックだけでなく、地震や水害などの災害が起こった際に、一時的に避難する場所として有効な所も確認していきます。地域の公民館はもちろん、トイレや水道がある公園や、大人数でも収容できる広場や空き地などを見つけて、地図に落とし込みます。



コース上にある一時避難に適した場所を説明する総務企画課の職員

### いつもとは異なる目線で “まち”を見るように

それぞれのコースを約1時間かけて回った  
フィールドワーク。終わるころには、参加者が  
「いつもとは違う目線」でまちを見て歩いて  
いるのが印象的でした。さらに、各班の記録用  
の地図には、総務企画課の職員からの説明  
や自分たちで気付いた点がびっしりと書き  
込まれていました。



約1時間のフィールドワーク終了! 各班の記録用紙にはびっしり書き込みが